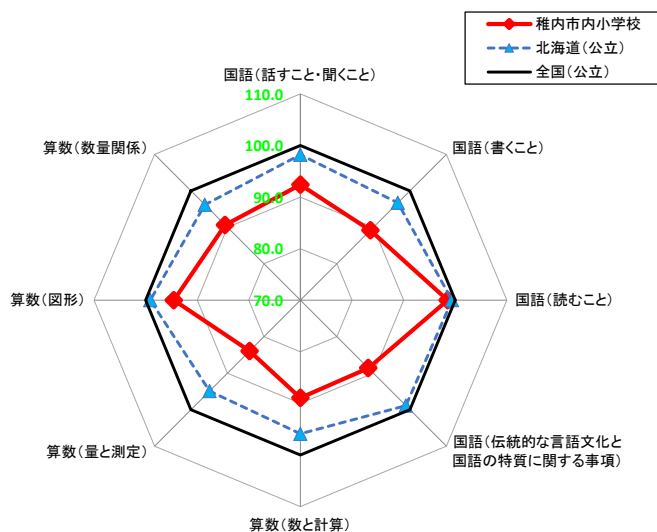


■稚内市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:11校、児童数:238人)

【教科全体の状況】

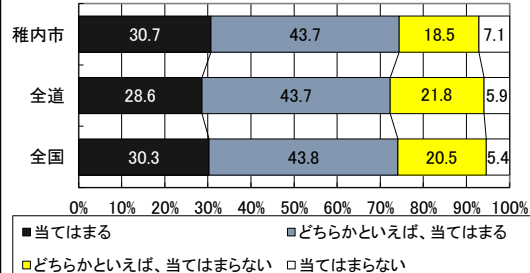
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

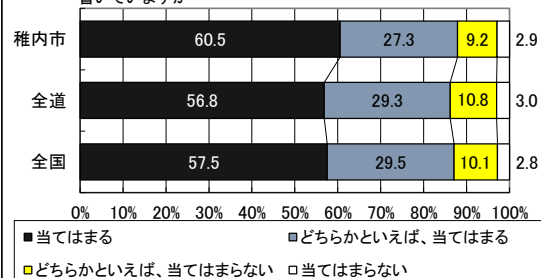


【児童質問紙調査】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

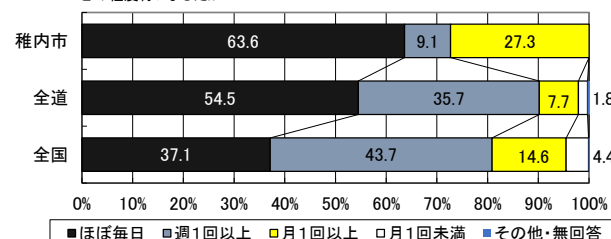


算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

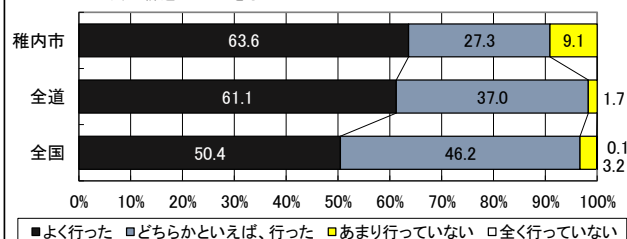


【学校質問紙調査】

調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりの程度行いましたか



調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えたことにより、話し合い活動の充実が図られ、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 児童に対する指導において、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行ったことにより、交流場面での指導の充実が図られ、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

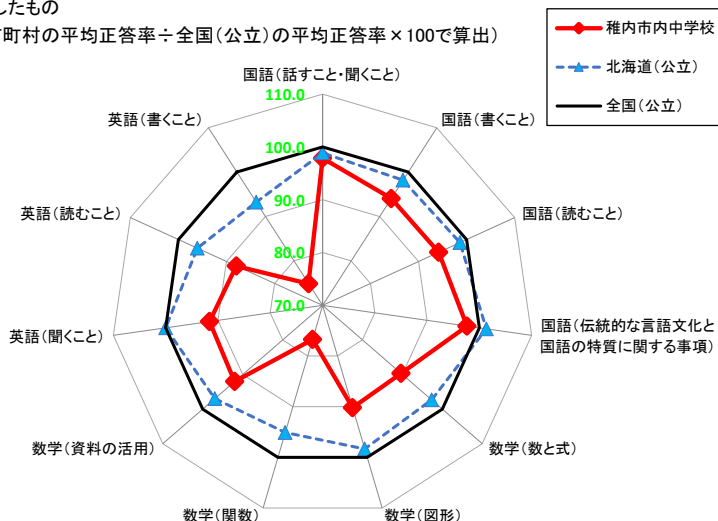
【稚内市の学力向上策】

- ◎ 第3、4学年を対象とした学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学カゲンゲン塾」の実施
- ◎ 第1、2学年を対象とした市費負担教員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ ICT機器活用の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習の支援
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

■ 稚内市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:258人)

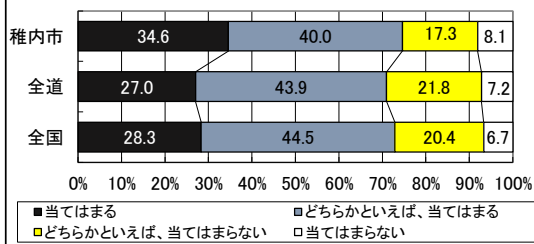
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

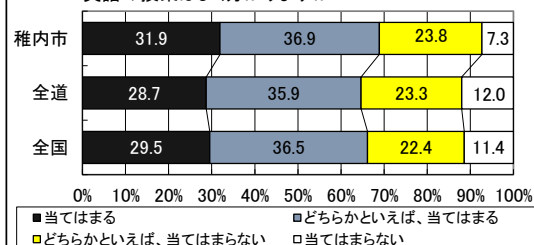


【生徒質問紙調査】

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

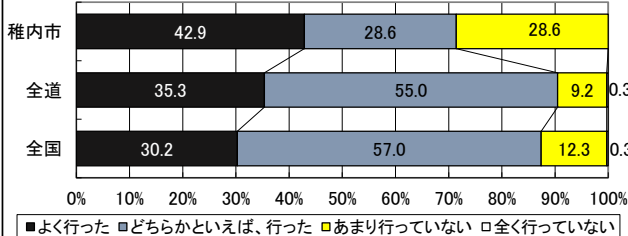


英語の授業はよく分かりますか

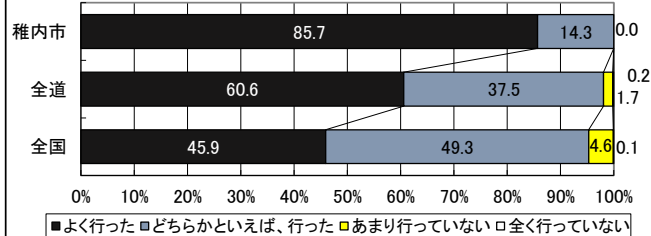


【学校質問紙調査】

調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか



調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えたことにより、話し合い活動の充実が図られ、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行ったことにより、生徒は英語に対する興味・関心を高め、「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。	

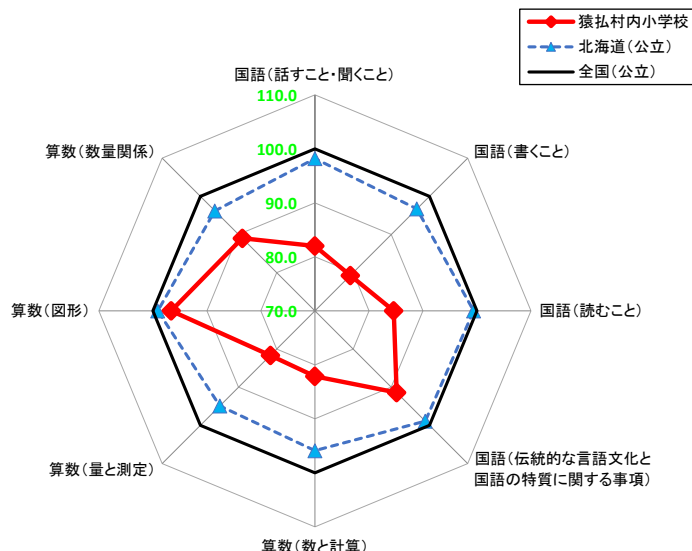
【稚内市の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習の支援
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ 働き方改革推進による部活動指導員の配置
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

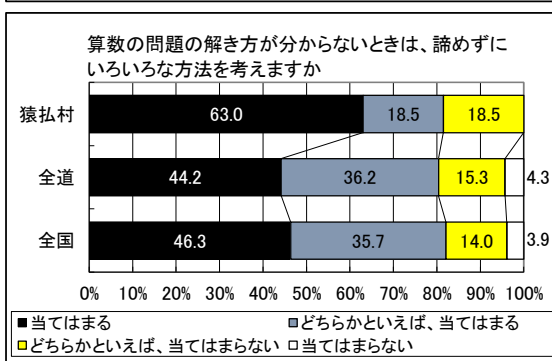
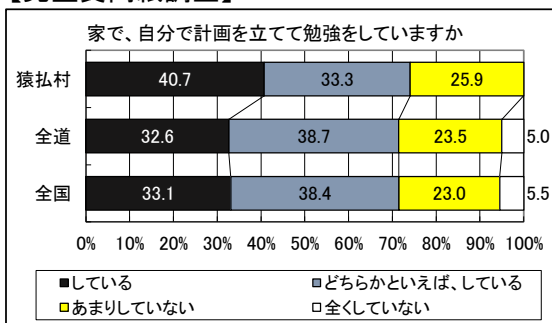
■猿払村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:27人)

【教科全体の状況】

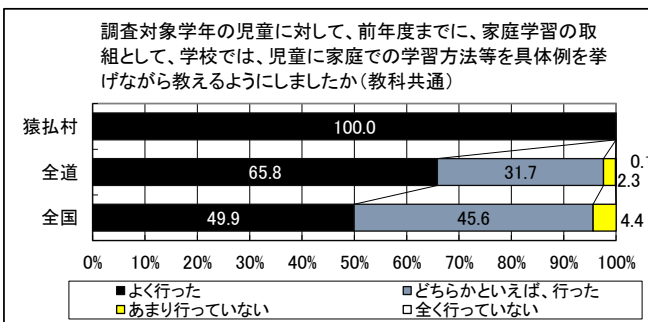
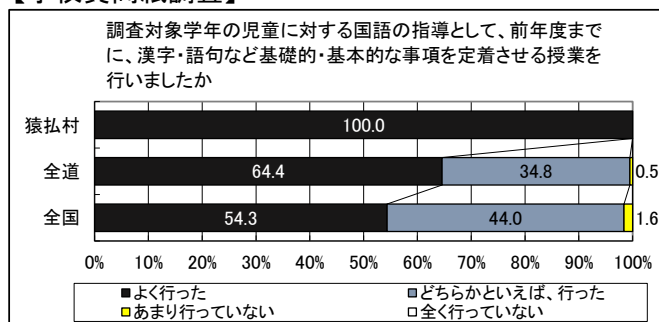
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の問題の解き方が分からないときに、諦めずにいろいろな方法を考えるよう指導を行ったことにより、児童は粘り強く問題に取り組むようになり、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 児童に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えるようにしたことにより、児童は学習習慣の定着を心がけるようになり、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

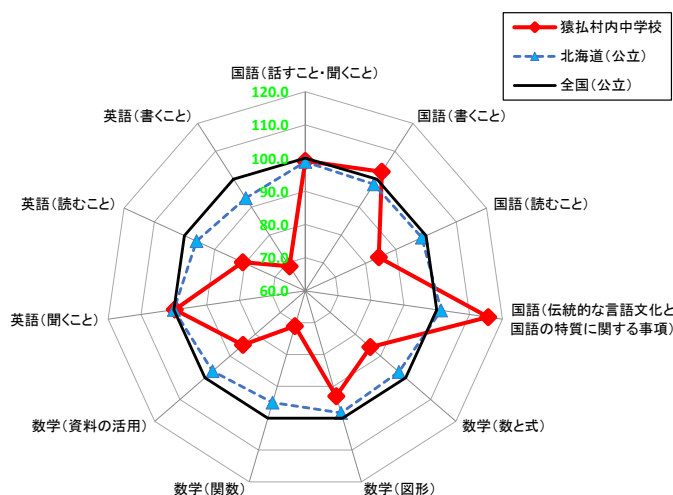
【猿払村の学力向上策】

- ◎ 地域素材の教材化や人材を活用した体験的なふるさと教育の充実
- ◎ 学習意欲向上のためのタブレット端末やプロジェクター導入によるICT教育の推進
- ◎ 「統一問題集」と「家庭学習の手引」の活用による家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 学校保健委員会の定期開催による子どもの生活習慣の実態把握と改善
- ◎ 猿払村教育研究会と連携した公開授業の実施

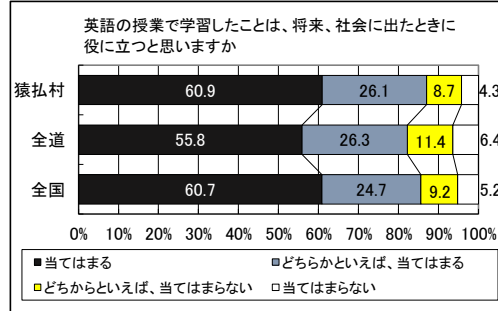
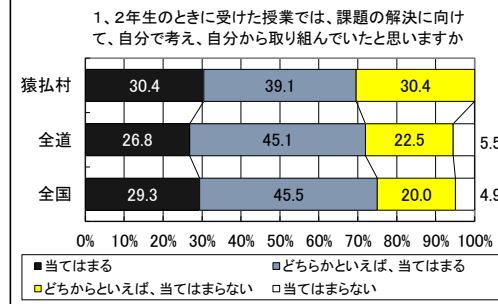
■猿払村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:23人)

【教科全体の状況】

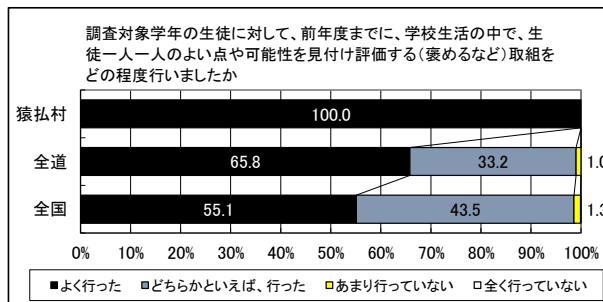
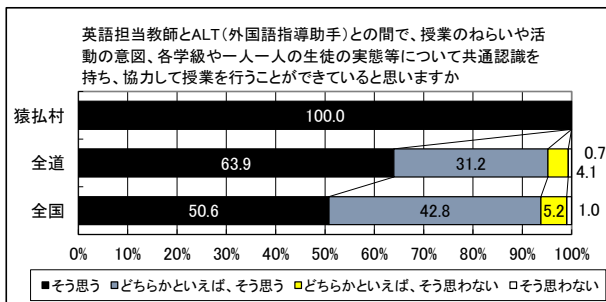
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語では、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 - 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 - 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行ったことにより、生きた外国語に触れる機会の充実が図られ、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	生徒に対して、学校生活の中で生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組をよく行ったことにより、生徒は主体的に学習に取り組むようになり、「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	- 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができています。 - 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をよく行った。	

【猿払村の学力向上策】

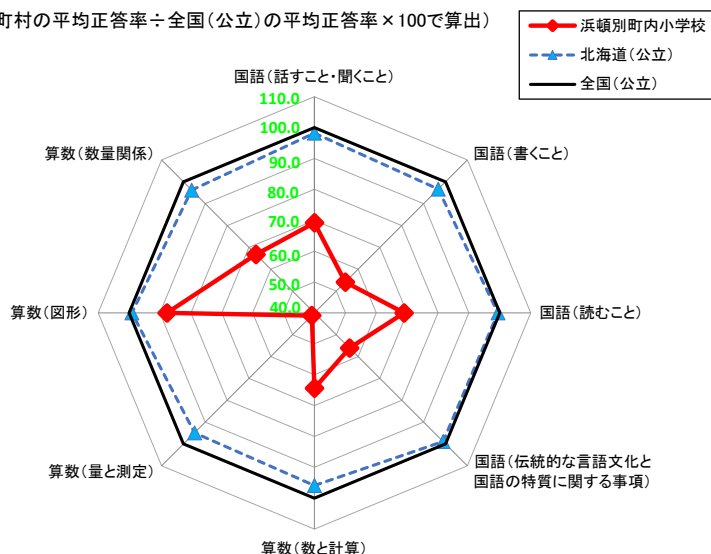
- ◎ 地域素材の教材化や人材を活用した体験的なふろさと教育の充実
- ◎ 学習意欲向上のためのタブレット端末やプロジェクター導入によるICT教育の推進
- ◎ 「統一問題集」と「家庭学習の手引」の活用による家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 学校保健委員会の定期開催による子どもの生活習慣の実態把握と改善
- ◎ 猿払村教育研究会と連携した公開授業の実施

■ 浜頓別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:26人)

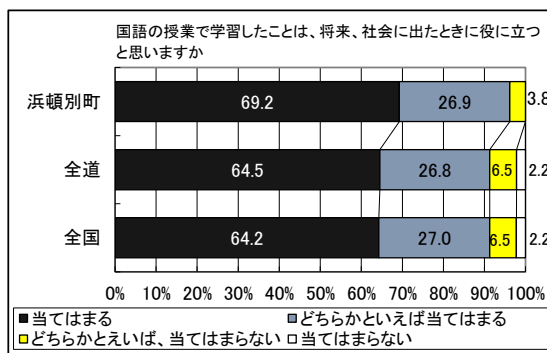
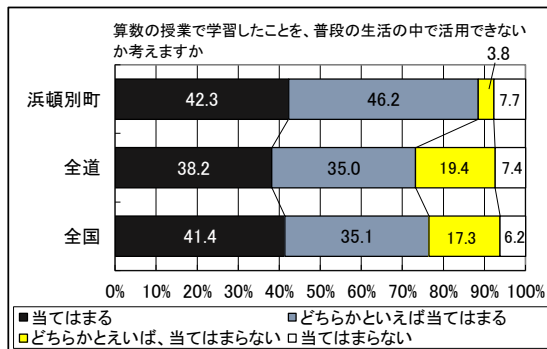
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

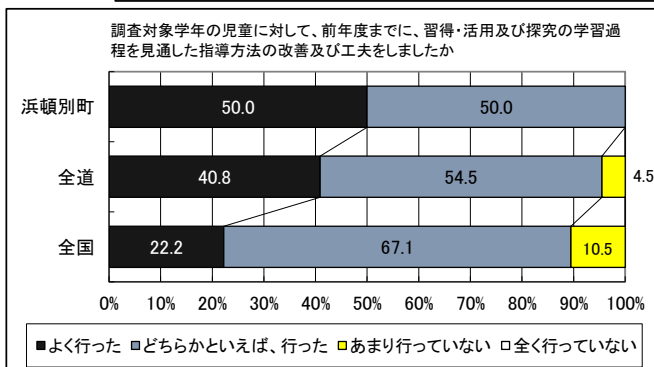
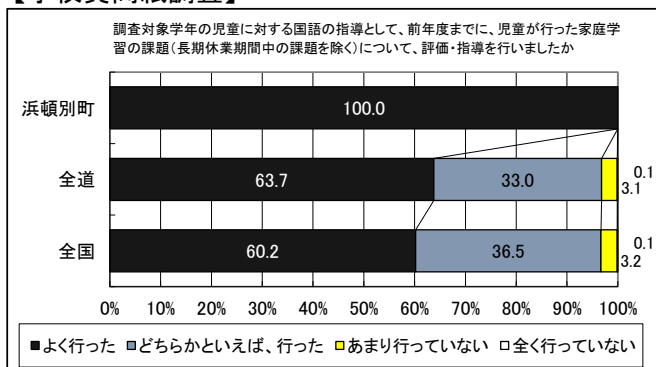
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、児童が行った課題学習の課題について、評価・指導をよく行ったことにより、児童は日常の言語活動を意識するようになり、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 児童に対して、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったことにより、問題解決的な学習の充実が図られ、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、児童が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【浜頓別町の学力向上策】

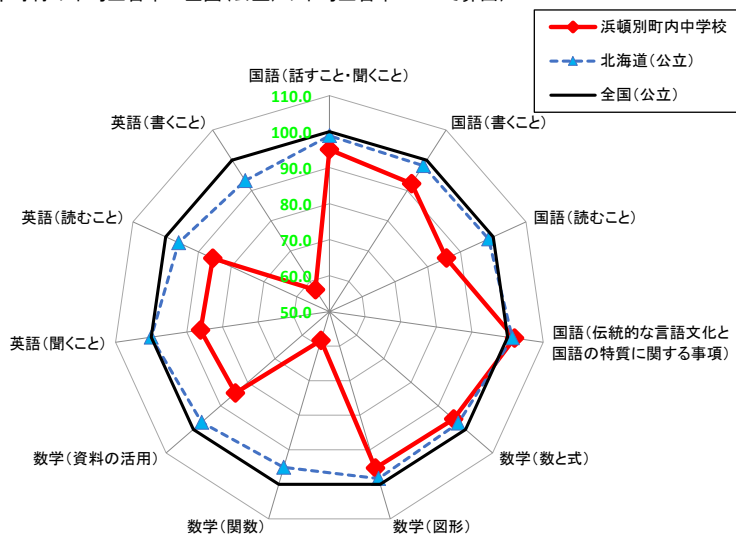
- ◎ 浜頓別町教育研究会、中頓別町合同教育研究会の活動支援による教職員の資質・能力の向上
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善
- ◎ 長期休業中の学習会や土曜学習塾の実施
- ◎ 各種検定等の検定料の支援

■ 浜頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:21人)

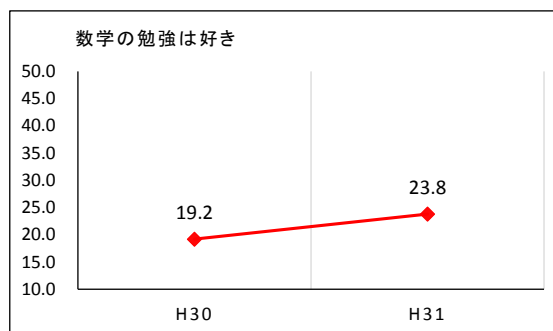
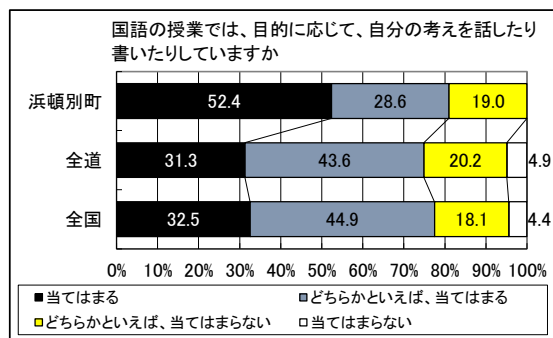
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

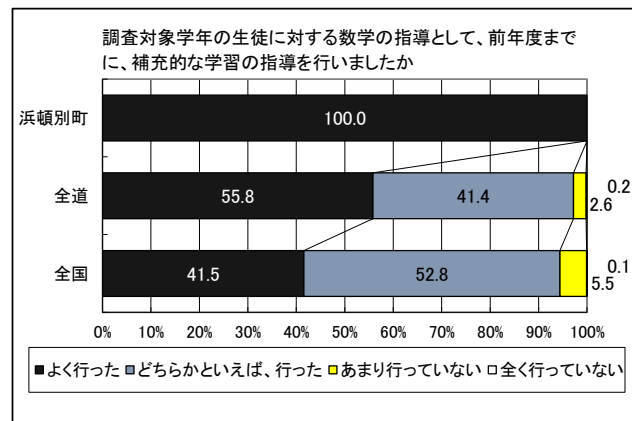
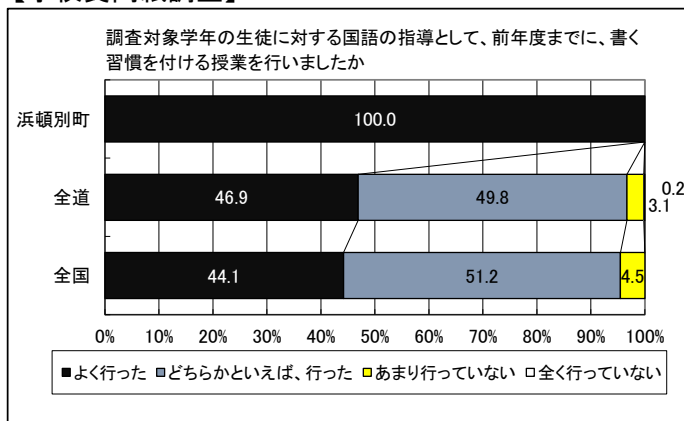
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行ったことにより、生徒は相手や目的を意識して丁寧に書くようになり、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合及び国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、前年度より増加している。	○ 数学の指導として、補充的な学習をよく行ったことにより、生徒は学習内容を理解するようになり、「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、前年度より増加するとともに、数学の「数と式」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。	

【浜頓別町の学力向上策】

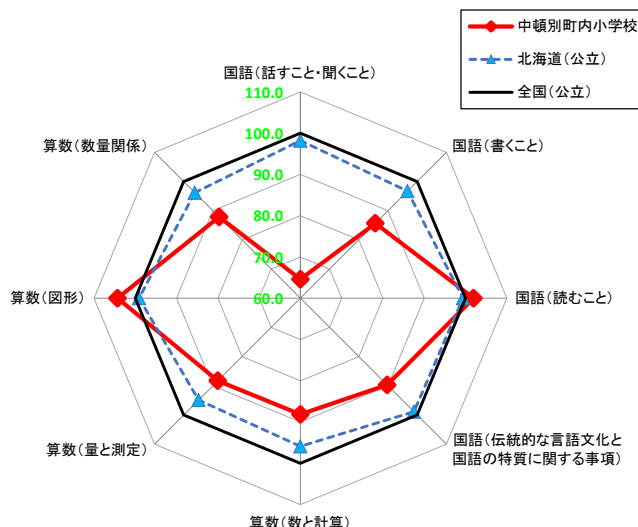
- ◎ 浜頓別町教育研究会、中頓別町合同教育研究会の活動支援による教職員の資質・能力の向上
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善
- ◎ 長期休業中の学習会や土曜学習塾の実施
- ◎ 各種検定等の検定料の支援

■中頓別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:10人)

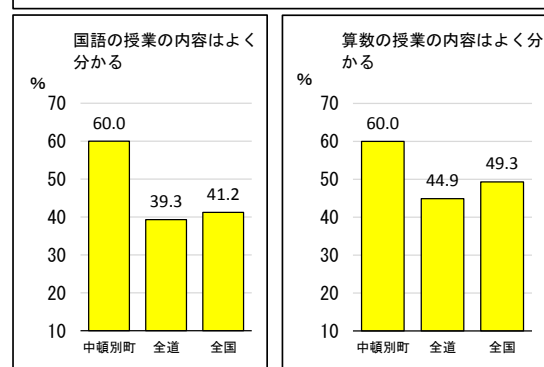
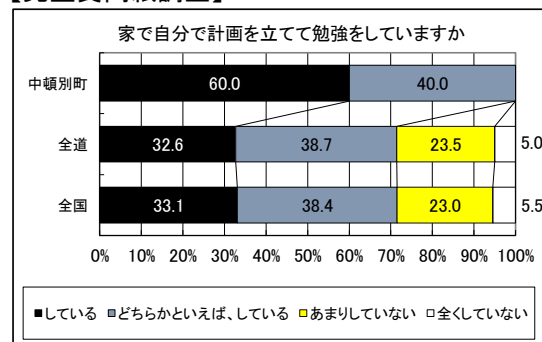
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

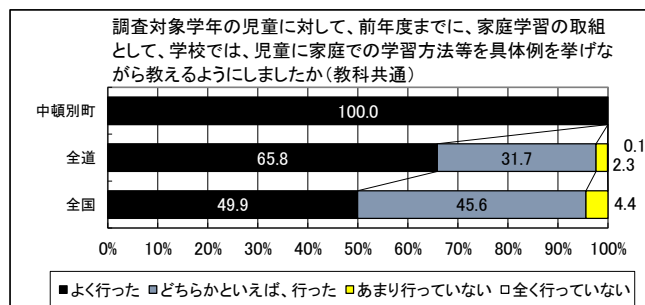
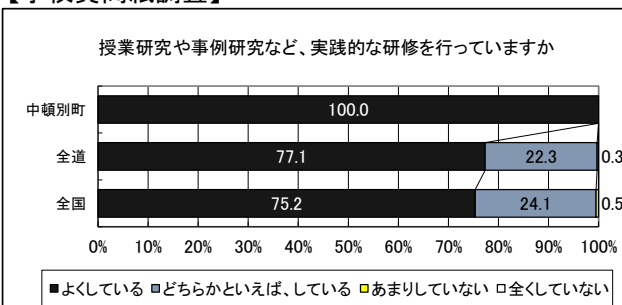
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「国語の授業の内容はよく分かる」及び「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 児童に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童は学習習慣の定着を心がけるようになり、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行っている。 ○ 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながらよく教えた。	

【中頓別町の学力向上策】

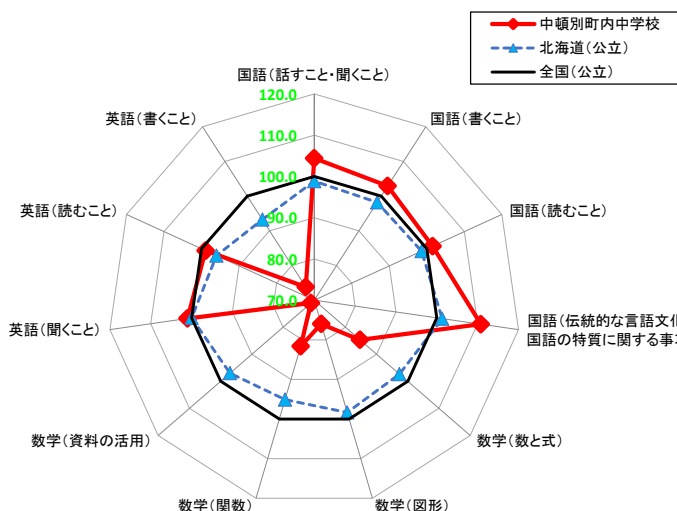
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜授業の実施による補充的な学習等の授業時間確保
- ◎ 町費負担の複式学級支援教員の配置による複式学級における学年別指導の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催
- ◎ 漢字検定受検料の全額補助

■中頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:10人)

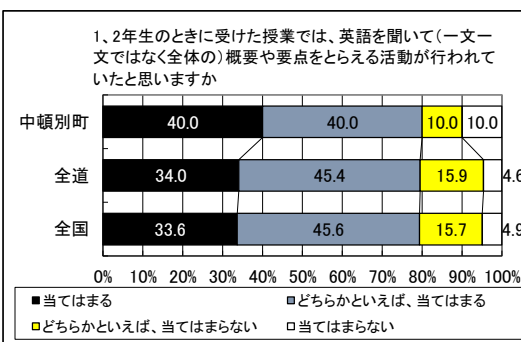
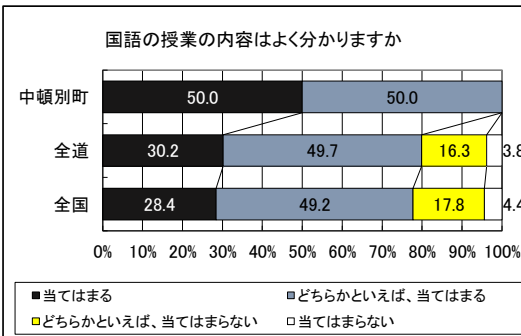
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

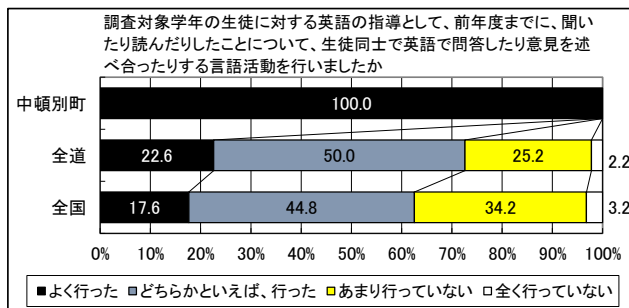
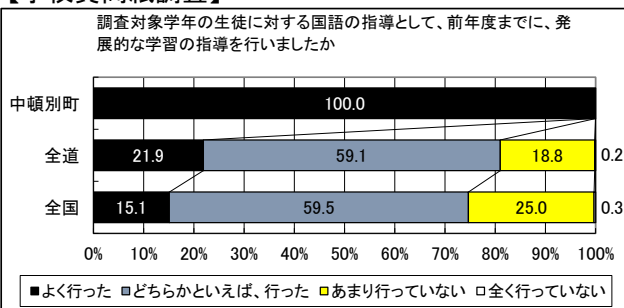
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、発展的な学習の指導をよく行ったことにより、言語活動の充実が図られ、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動をよく行ったことにより、生徒は話の内容や意図を正しく理解するようになり、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導をよく行った。 ○ 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った。	

【中頓別町の学力向上策】

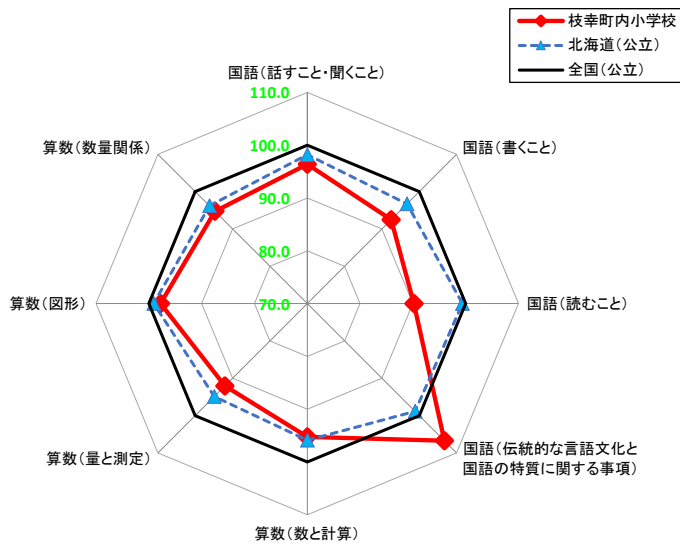
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜授業の実施による補足的な学習等の授業時間確保
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催
- ◎ 漢字検定及び英語検定受験料の全額補助
- ◎ 校内での教師の資質向上、授業力向上を目指す「ミニ研修」の実施
- ◎ 生徒の英語学習の意欲を育む「ハワイ語学研修」の実施

■枝幸町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:76人)

【教科全体の状況】

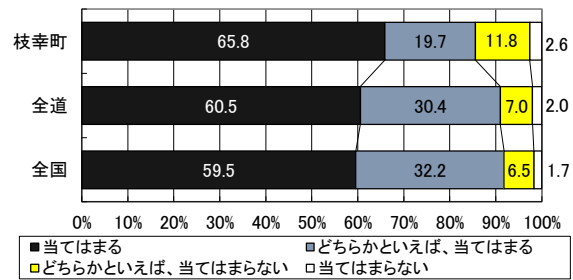
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

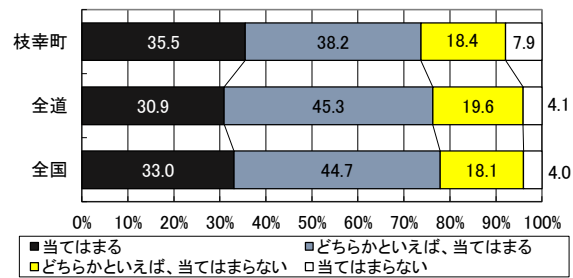


【児童質問紙調査】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

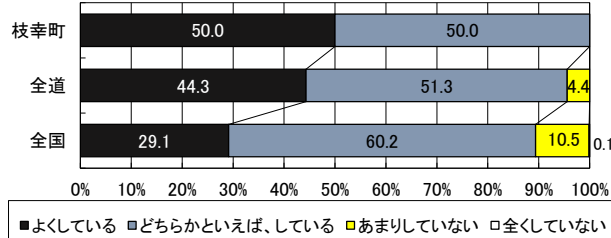


5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

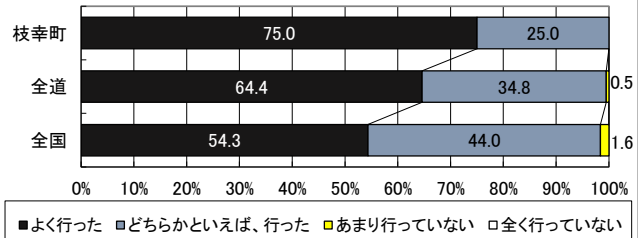


【学校質問紙調査】

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行ったことにより、児童は国語の知識・技能を身に付けるようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよく行ったことにより、児童はよりよく課題解決に取り組むようになり、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよくしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【枝幸町の学力向上策】

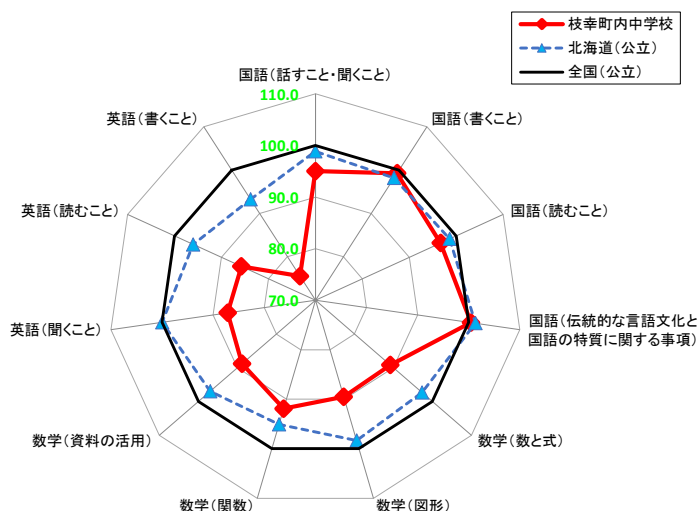
- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと児童一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 「家庭学習のとりばら」を活用した学習習慣の確立を図る取組の推進
- ◎ 「えさっ子の未来を拓く十か条」を生かした、学校・家庭・地域が一体となった学習習慣、生活習慣の改善を図る取組の推進
- ◎ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」を活用した授業改善の推進
- ◎ 「授業改善推進チーム活用事業」を活用した授業改善の推進

■枝幸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:64人)

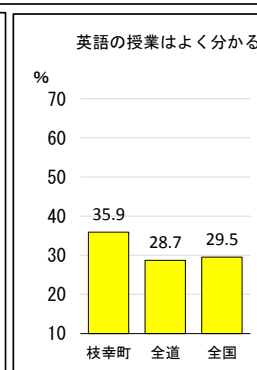
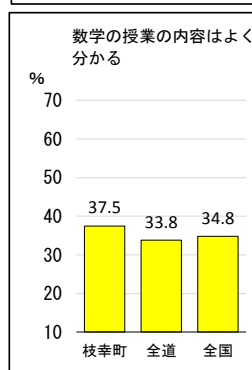
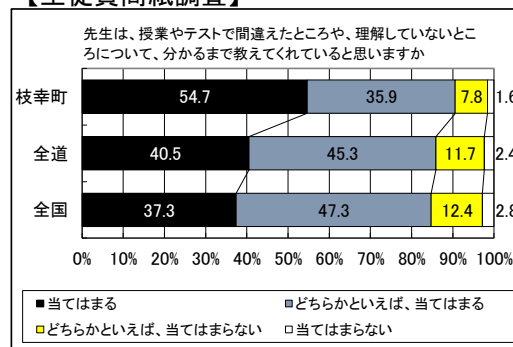
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

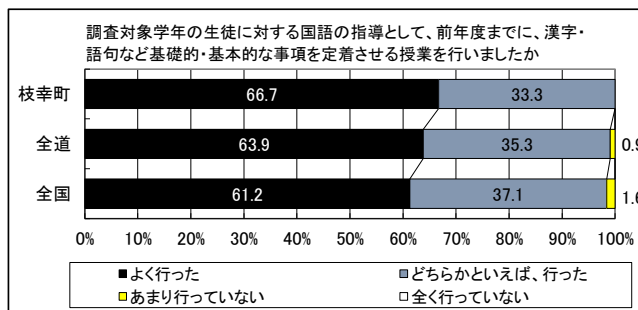
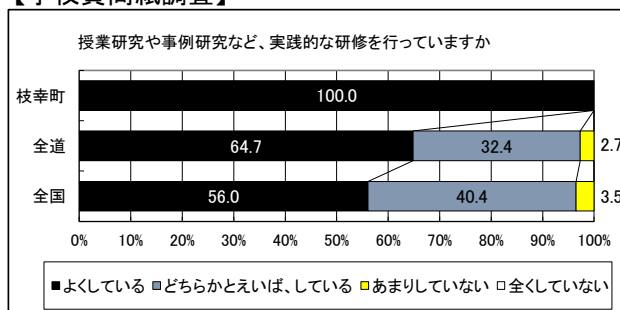
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行ったことにより、生徒は国語の知識・技能を身に付けるようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「数学の授業の内容はよく分かる」及び「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【枝幸町の学力向上策】

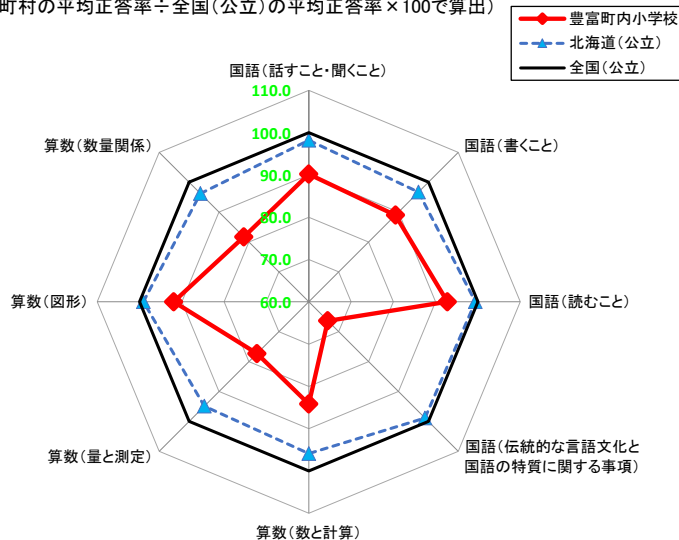
- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと生徒一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 「家庭学習のとりま」を活用した学習習慣の確立を図る取組の推進
- ◎ 「えさしっ子の未来を拓く十か条」を生かした、学校・家庭・地域が一体となった学習習慣、生活習慣改善の取組の推進
- ◎ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」を活用した授業改善の取組の推進
- ◎ 「授業改善推進チーム活用事業」を活用した授業改善の取組の推進

■ 豊富町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:22人)

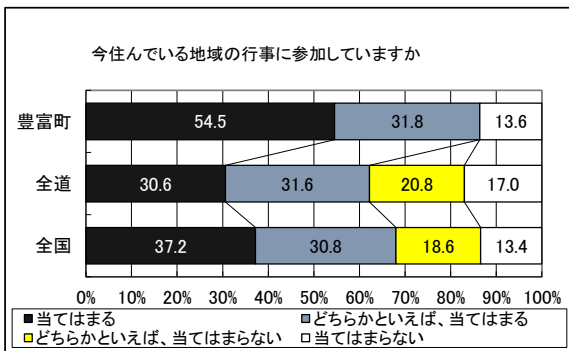
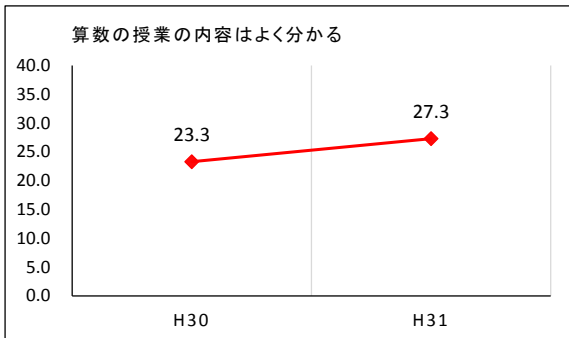
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

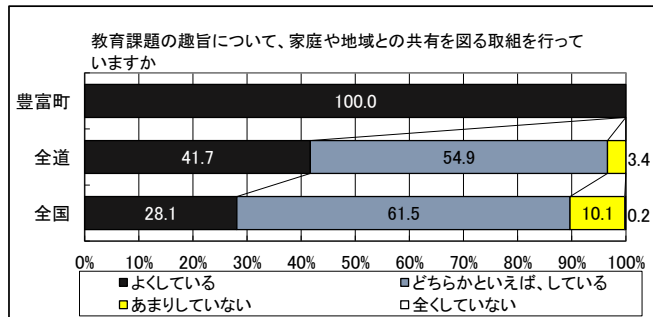
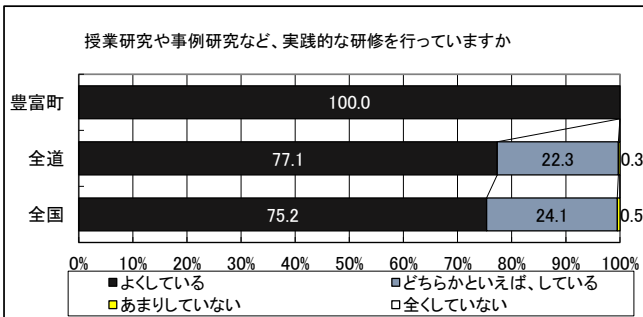
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組をよく行ったことにより、家庭や地域と連携した教育活動の充実が図られ、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、前年度より増加した。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている。 ○ 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている。	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、前年度より増加するとともに、国語の「読むこと」及び算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。

【豊富町の学力向上策】

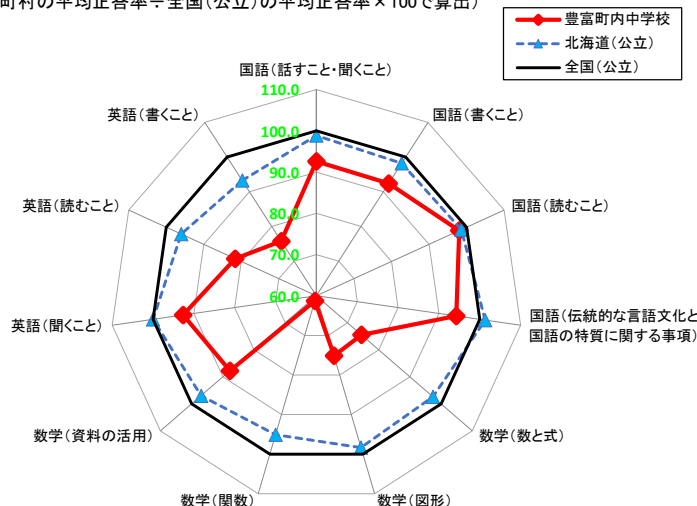
- ◎ 標準学力テストの実施等、各種調査に基づく実態把握の推進
- ◎ 実態把握に基づく「学力向上プラン」の改善
- ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した算数教室の開催
- ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置

■豊富町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:40人)

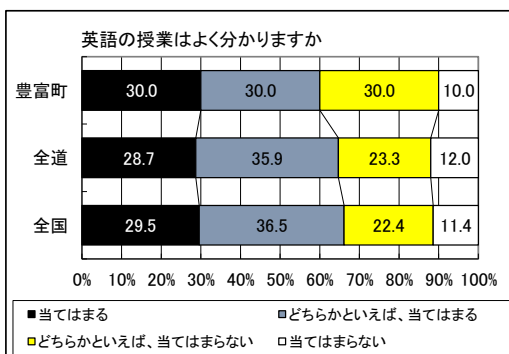
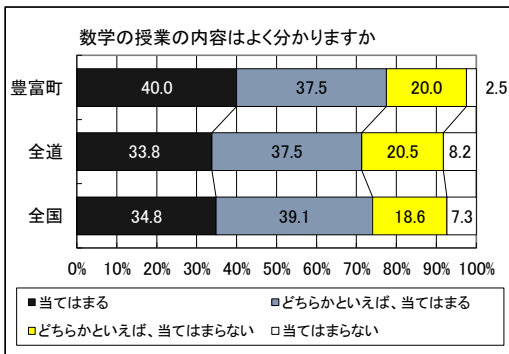
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

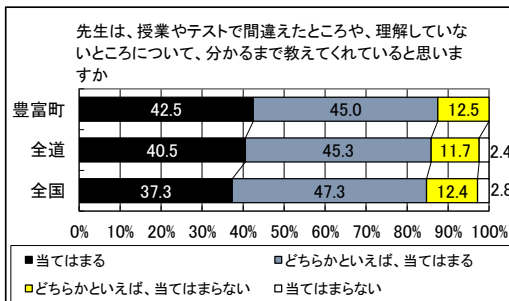
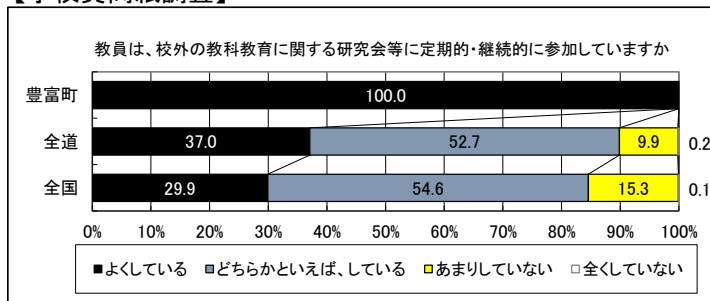
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで指導したことにより、生徒は粘り強く学習に取り組むようになり、国語の「読むこと」及び英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 教員が校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的によく参加したことにより、日常の授業改善が図られ、「数学の授業の内容はよく分かる」及び「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的によく参加している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【豊富町の学力向上策】

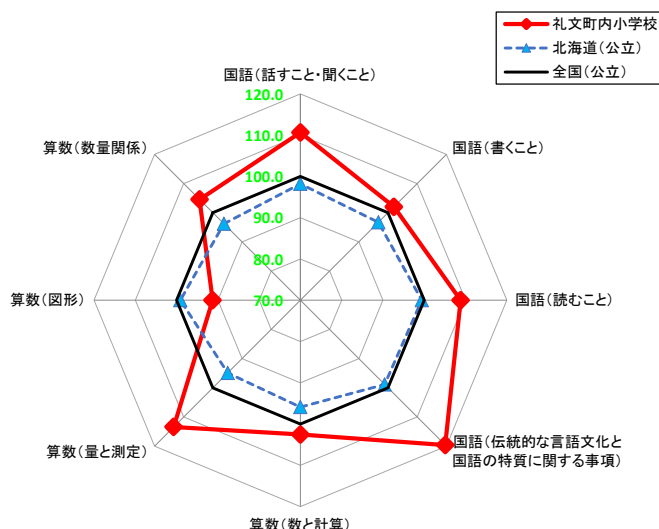
◎ 標準学力テストの実施等、各種調査に基づく実態把握の推進 ◎ 実態把握に基づく「学力向上プラン」の改善 ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した数学教室の開催 ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置

■礼文町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:15人)

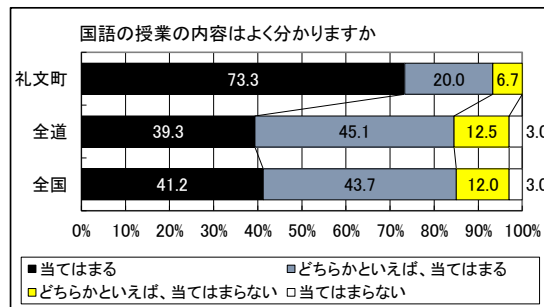
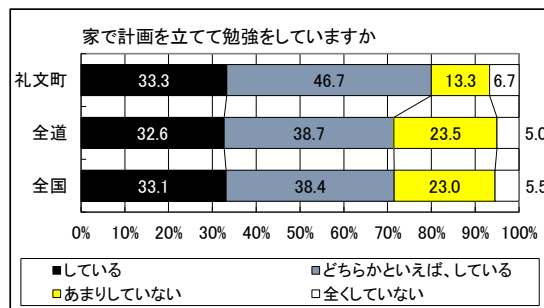
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

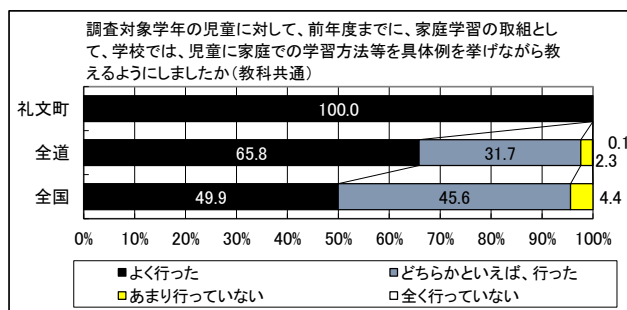
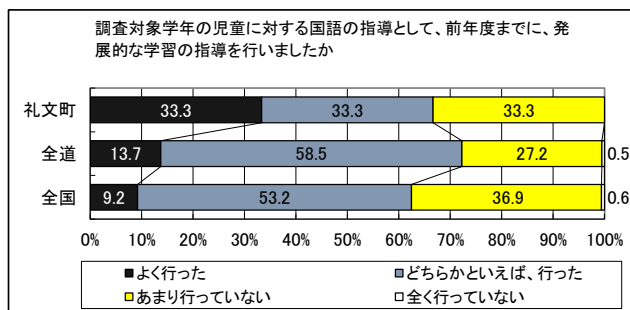
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 - 算数では、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。	国語の指導として、発展的な学習の指導をよく行ったことにより、言語活動の充実が図られ、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合及び国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	「家で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	児童に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えるようにしたことにより、児童は学習習慣の定着を心がけるようになり、「家で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導をよく行った」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【礼文町の学力向上策】

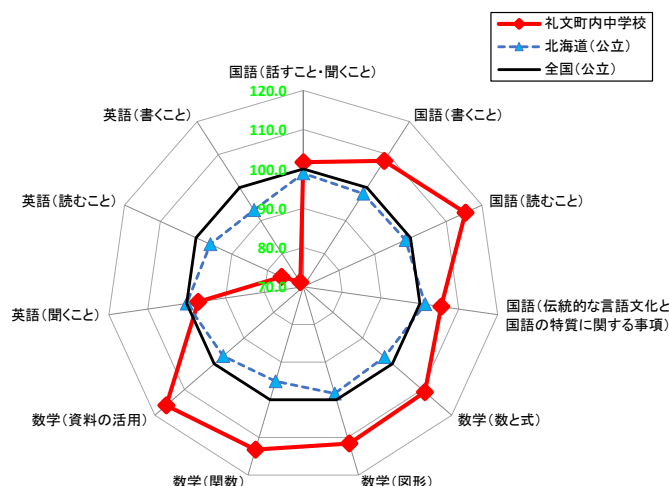
- ◎ 「礼文学」「礼文検定」の実施
- ◎ 学校ごとの「学校改善プラン」の作成
- ◎ 小・中学校が年1回ずつ授業公開を行う礼文町教育研究会の実施
- ◎ 保・小・中・高連携を取り入れた「礼文型教育連携」を軸にした教職員の指導力向上の取組
- ◎ 全国学力・学習状況調査を分析し、授業改善プランの修正と実践

■礼文町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:14人)

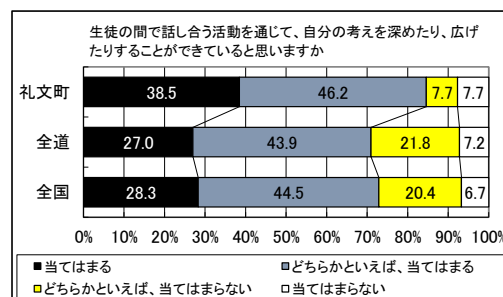
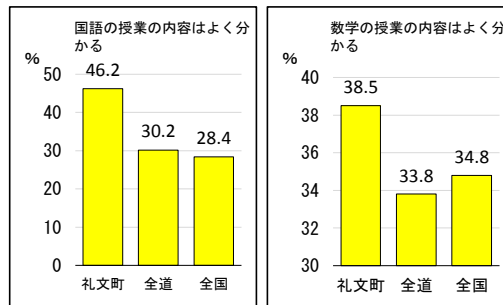
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

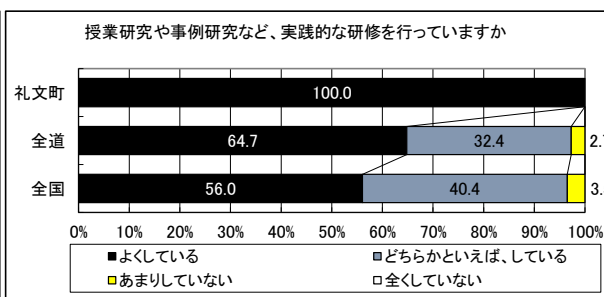
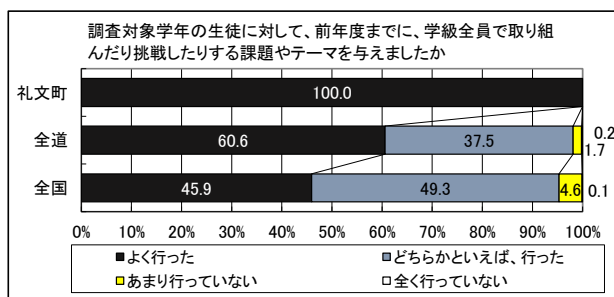
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えたことにより、話し合い活動の充実が図られ、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「国語の授業の内容はよく分かる」及び「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び数学の「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回り、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【礼文町の学力向上策】

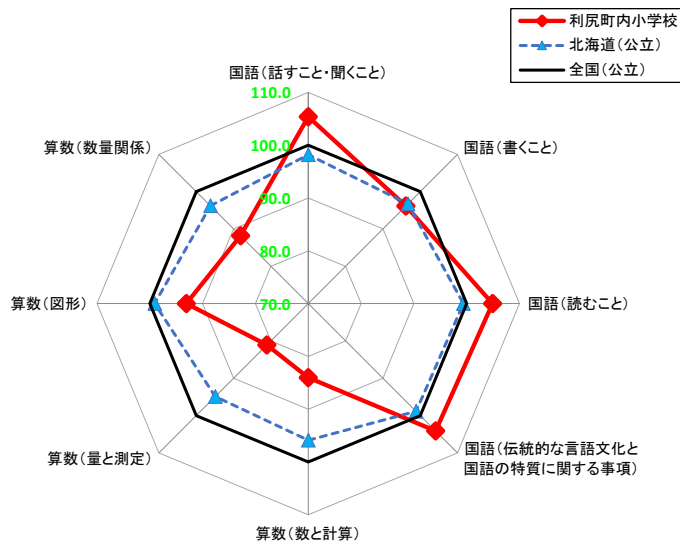
- ◎ 「礼文学」「礼文検定」の実施
- ◎ 学校ごとの「学校改善プラン」の作成
- ◎ 小・中学校が年1回ずつ授業公開を行う礼文町教育研究会の実施
- ◎ 保・小・中・高連携を取り入れた「礼文型教育連携」を軸にした教職員の指導力向上の取組
- ◎ 全国学力・学習状況調査を分析し、授業改善プランの修正と実践

■利尻町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:14人)

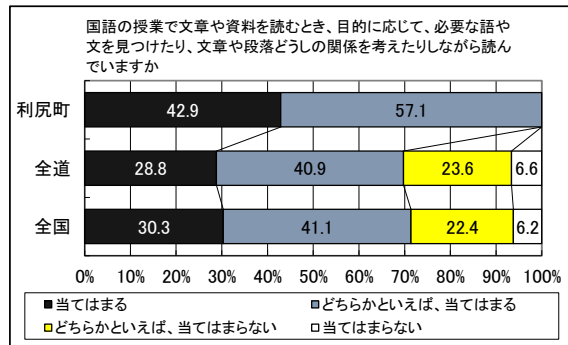
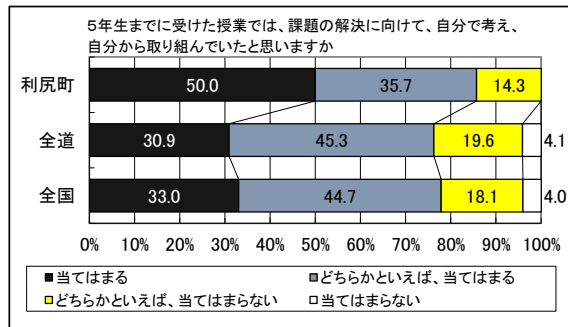
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

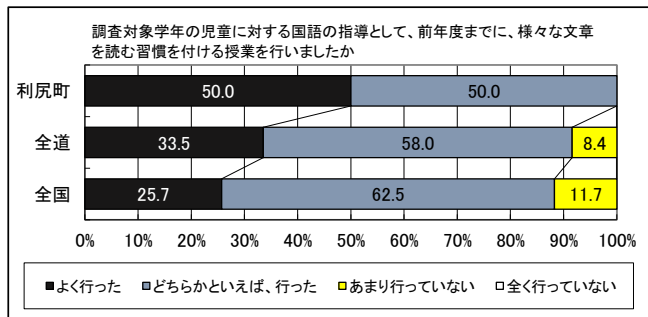
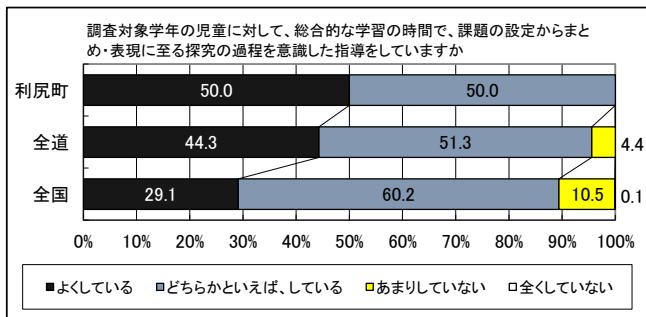
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよく行ったことにより、児童はよりよく課題解決に取り組むようになり、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいます」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行ったことにより、児童は文章の構造や内容を捉えて読むようになり、「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいます」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

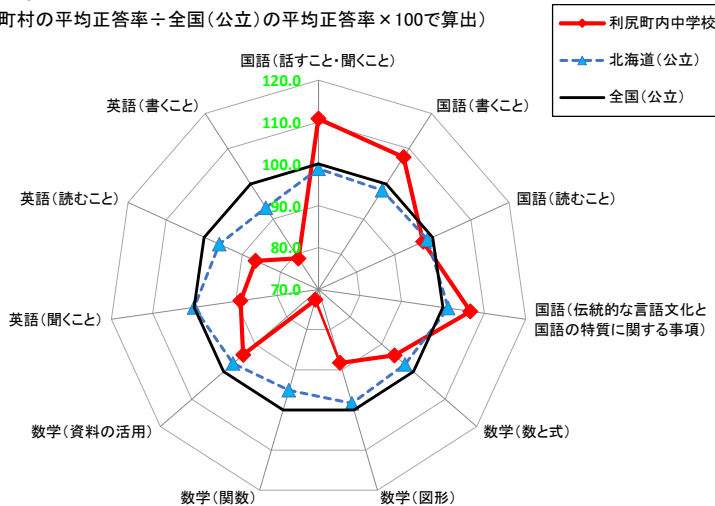
【利尻町の学力向上策】

- ◎ 利尻町で作成した独自の問題集の活用
- ◎ 地域のボランティアを活用した合同学習の実施
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの改善
- ◎ 小中高の学校間連携による教員の資質能力の向上

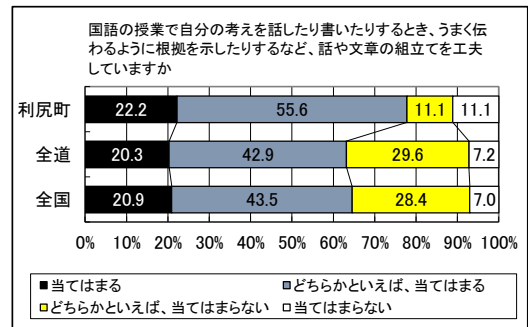
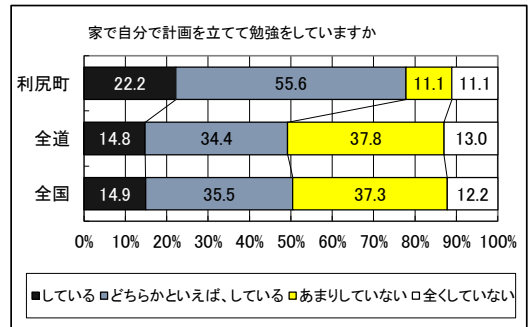
■利尻町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:9人)

【教科全体の状況】

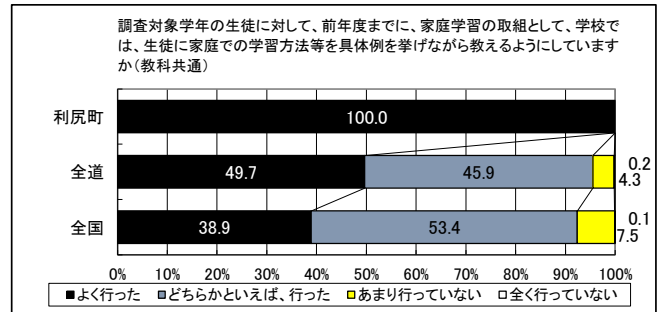
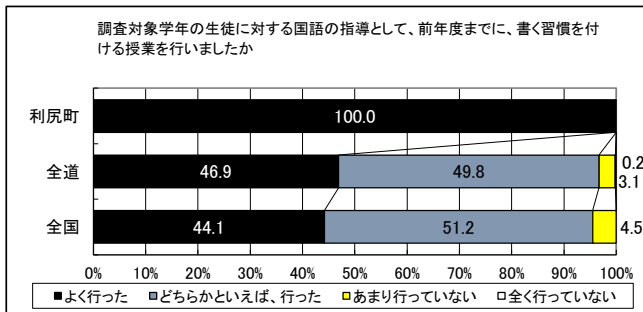
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行ったことにより、生徒は相手や目的を意識して丁寧に書くようになり、「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語の、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行っている。 ○ 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしている。	○ 生徒に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えるようにしたことにより、生徒は学習習慣の定着を心がけるようになり、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【利尻町の学力向上策】

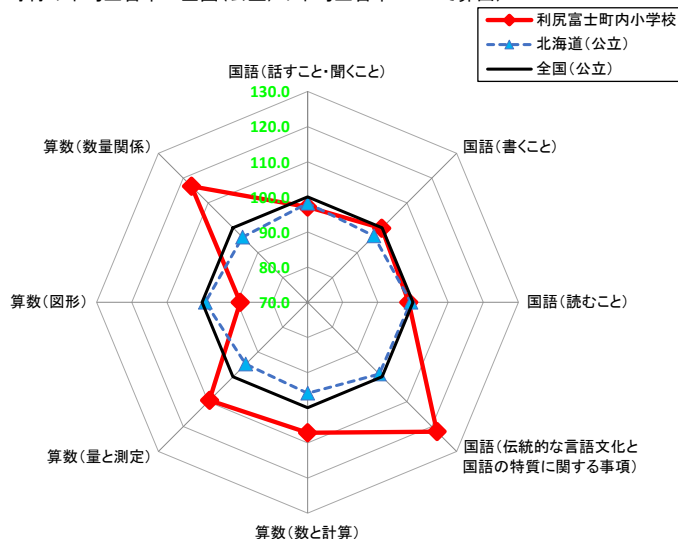
- ◎ 利尻町で作成した独自の問題集の活用
- ◎ 地域のボランティアを活用した合同学習の実施
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの改善
- ◎ 小中高の学校間連携による教員の資質能力の向上

■ 利尻富士町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:19人)

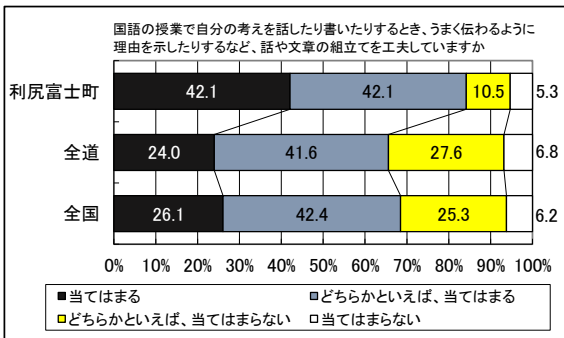
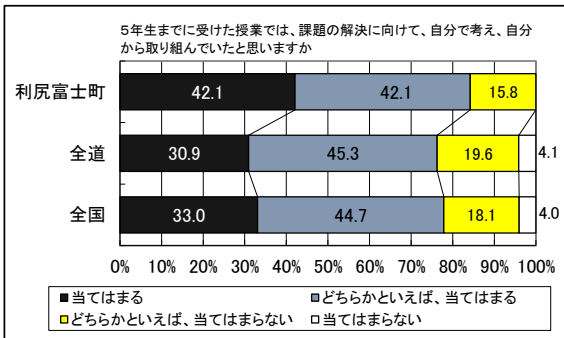
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

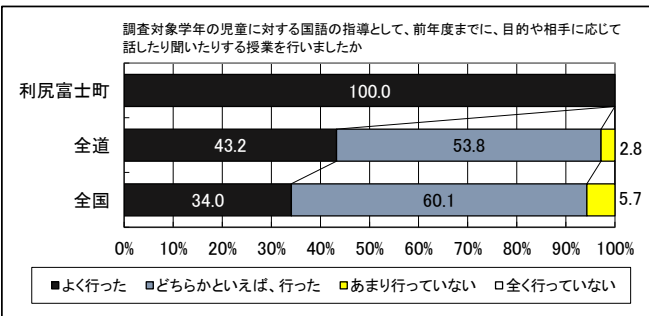
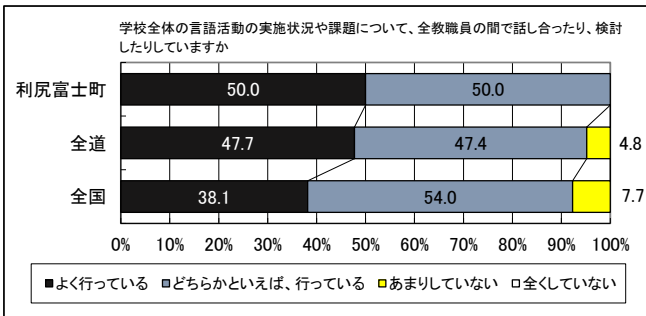
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間でよく話し合ったり、検討したりしたことにより、児童はよりよく課題解決に取り組むようになり、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、児童は分かりやすく伝わるように表現を工夫するようになり、「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるよう理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【利尻富士町の学力向上策】

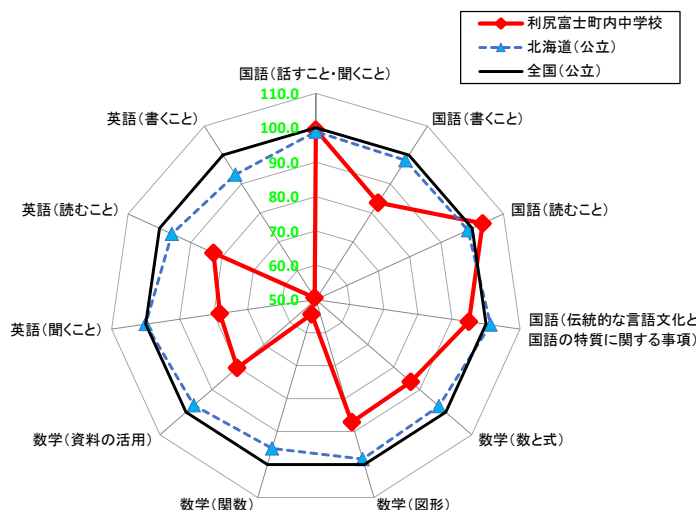
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく個に応じた指導の改善・充実
- ◎ 体験的な学習や問題解決的学習を積極的に取り入れた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進
- ◎ 家庭や地域、関係機関・団体と連携した地域学習を通じた、学習意欲の向上と基礎・基本の定着に向けた指導の充実
- ◎ 基礎学力の向上、学習習慣の定着に向けた英検などの各種検定料の助成

■利尻富士町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:21人)

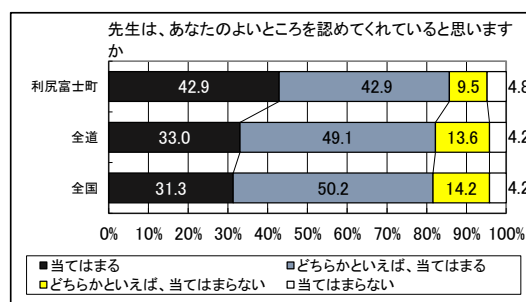
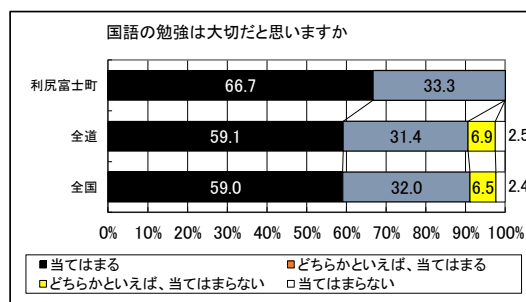
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

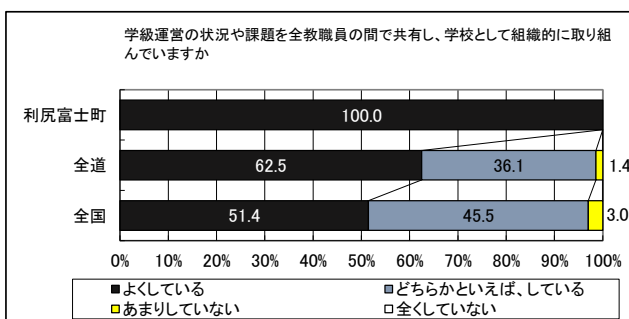
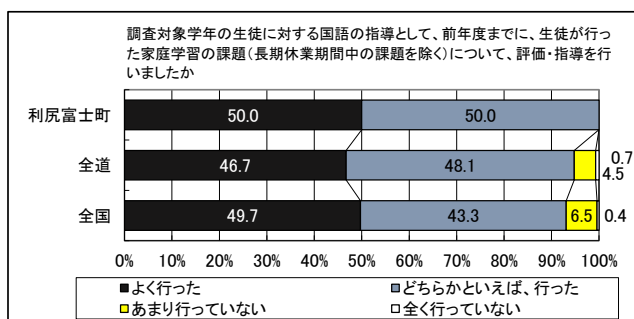
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導をよく行ったことにより、生徒は日常の言語活動を意識するようになり、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学級経営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいることにより、生徒理解に基づく指導の充実が図られ、「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、生徒が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。 ○ 「学級経営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。	

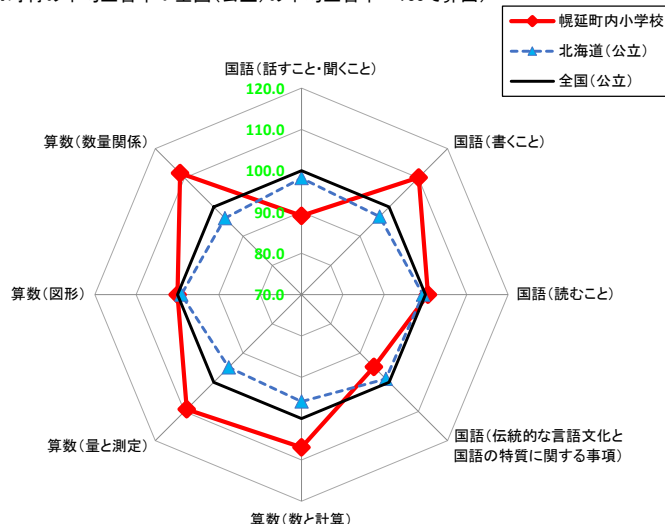
【利尻富士町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく個に応じた指導の改善・充実
- ◎ 体験的な学習や問題解決の学習を積極的に取り入れた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進
- ◎ 家庭や地域、関係機関・団体と連携した地域学習を通じた、学習意欲の向上と基礎・基本の定着に向けた指導の充実
- ◎ 基礎学力の向上、学習習慣の定着に向けた英検などの各種検定料の助成

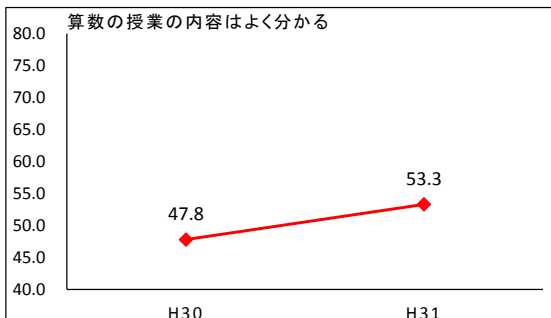
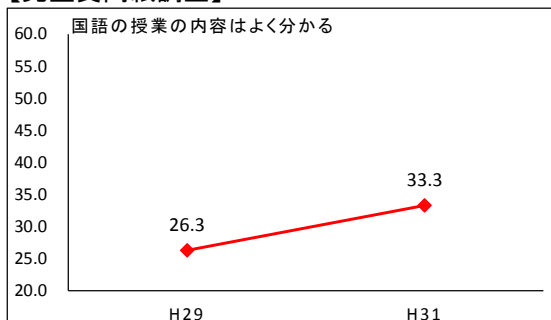
■幌延町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:15人)

【教科全体の状況】

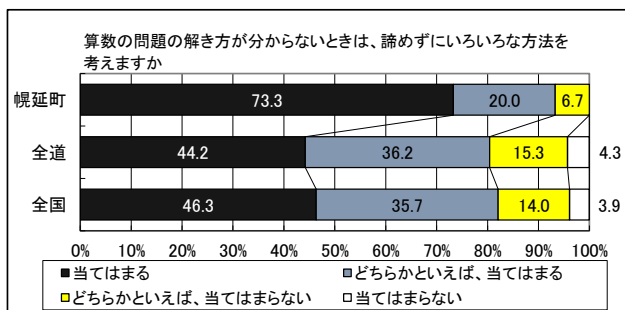
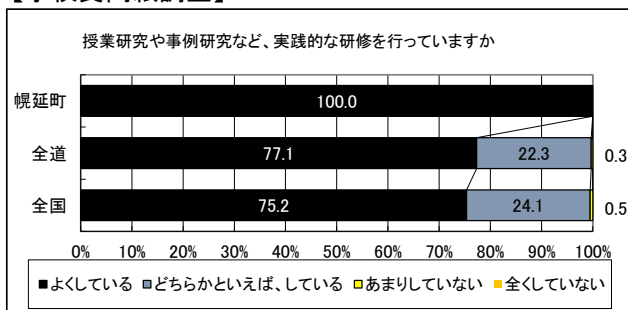
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、一昨年度より増加し、「数学の授業の内容は、よく分かる」と回答した児童の割合が、前年度より増加したと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、一昨年度より増加している。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、前年度より増加している。 ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の問題の解き方が分からないときに、諦めずにいろいろな方法を考えるよう指導を行ったことにより、児童は粘り強く学習に取り組むようになり、算数の「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【幌延町の学力向上策】

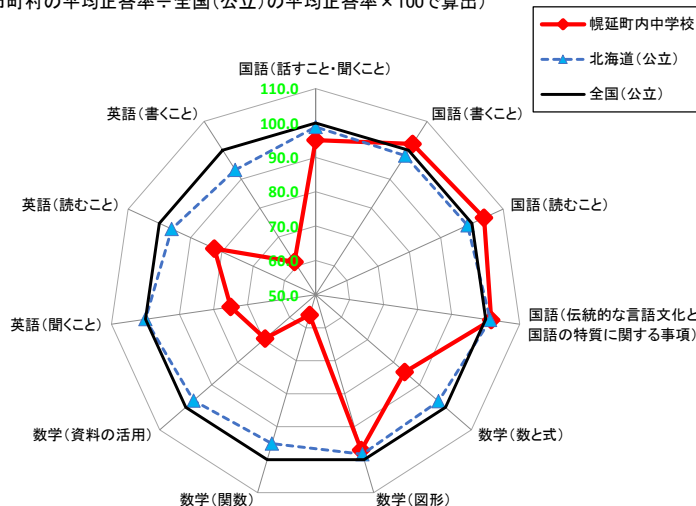
- ◎ 学力向上に向けたICT機器の活用
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの実施と評価
- ◎ 標準学力検査、知能検査、Q-Uの実施
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟度別学習、個別学習など、指導体制の充実
- ◎ チャレンジテストや問題集を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着
- ◎ 公開授業研究会の開催など、町内の学校が一体となった授業改善の取組推進

■幌延町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:16人)

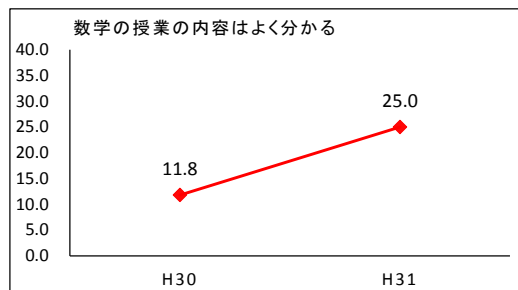
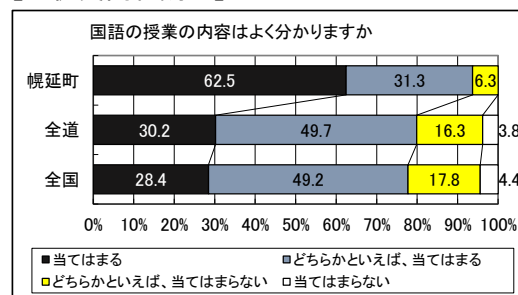
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

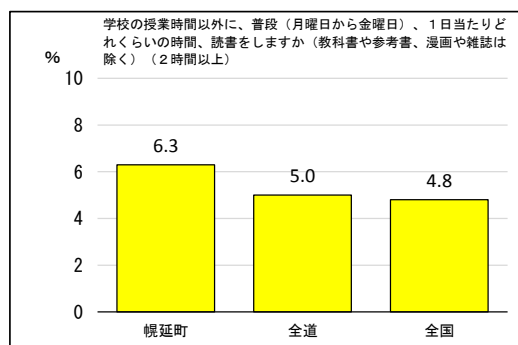
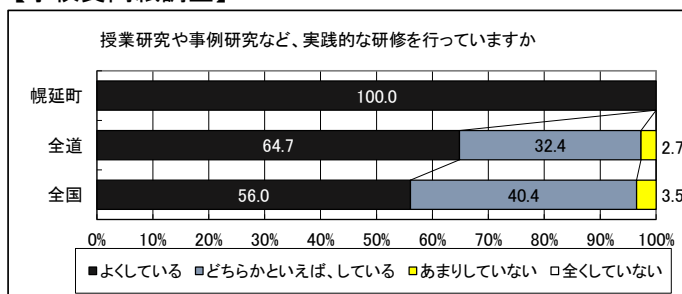
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。	○ 日常的に読書をする習慣を付ける指導を行ったことにより、言語活動の充実が図られ、国語の「書くこと」「読むこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、前年度より増加している。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上、読書をする(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業研究や事例研究など実践的な研修を行ったことにより、課題を焦点化した授業改善が図られ、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回り、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、前年度より増加したと考えられる。
学校質問紙	○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【幌延町の学力向上策】

◎ 学力向上に向けたICT機器の活用 ◎ 学校ごとの学力向上プランの実施と評価 ◎ 放課後学習など学習機会の確保と学習支援の充実 ◎ チャレンジテストや問題集を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着 ◎ 標準学力検査、知能検査、進路適性検査の実施と結果分析 ◎ 公開授業研究会の開催など、町内の学校が一体となった授業改善の取組推進
